

江戸川区の桜の名所

江戸川区には15,000本の桜があり、数多くの名所が存在します。

今回展示している写真はその中の一部ですが、いずれも江戸川区を代表する桜の名所です。この華やかな姿の陰では、多くの人が桜を守り育てる活動をしています。江戸川区民と共に歩む「さくらのまち江戸川区」をご堪能ください。

① 小松川千本桜



荒川スーパー堤防事業により誕生した都市緑地。

広大なスペースの中に、ソメイヨシノなど1,000本を超える桜が咲き誇る。

ソメイヨシノと

オオシマザクラを中心であるが、桜の品種も約30種とバラエティ富む。

③ 江戸川水閘門（篠崎水門）



風格を感じる水門と見応えある桜は、古くから江戸川区の春の風物詩として愛されてきた。

昭和29年に総武線鉄橋上下流

6kmの篠崎堤に800本の桜の苗木が植えられたという記録が残っている。

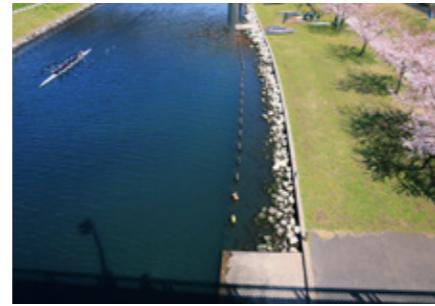
⑤ 平成庭園（行船公園）



行船公園にある平成庭園のシダレザクラは、開花期間にライトアップされ、鑑賞・撮影を目的に多くの人が足を運ぶ。

また平成庭園に限らず、行船公園には数寄屋造りの茶室「源心庵」や入園無料の「自然動物園」もあるため、桜の季節には家族連れでお花見を楽しむ姿も多い。

② 旧中川



早春（2月上旬～下旬）に約30本の河津桜が咲き、一足先に春の訪れを実感できる。

また近年親水河川として生まれ変わったことで、

ボートやカヌーなどの水辺のスポーツが盛んに行われている。

④ 篠田堀親水緑道



一度ドブ川と化した水路をかつての自然豊かなせせらぎと桜並木のある散策路に整備した親水緑道。

区内の桜の名所の中でも古木が残り、水路の散策とあわせて迫力のある桜を楽しむことができる。

⑥ 新川千本桜



平成27年3月に完成した新川千本桜は、ソメイヨシノを中心に約20種、700本を超える桜を楽しむことができる。

また火の見櫓や新川さくら館、本格的な木橋など江戸情緒溢れる雰囲気が漂い、桜の季節には多くの人が訪れる。

⑦ 都立大島小松川公園



小松川千本桜に隣接する都立公園で、災害時には広大なスペースが避難場所として活用される。

レクリエーションの場として、自由の広場、遊具などの運動施設が拡張され、春にはお花見を楽しむ人で賑わう。

⑧ 新左近川親水公園



かつて左近川と長島川の排水路として機能していた水路を親水公園として整備。ソメイヨシノやオオシマザクラが中心であるが、カンザン、フゲンゾウといったサトザクラも鑑賞できる。バーベキューや釣りなどのレジャーもあわせて楽しめる。

さくらの名所20選

